

2016年3月1日～2022年2月28日の間に
モートン神経腫（モートン病）に対して神経腫切除術を受けられた方および
そのご家族の方へ

—「モートン神経腫に特徴的なMRI画像所見」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 前田 嘉信

研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 運動器スポーツ医学講座 講師 雑賀建多
研究分担者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 整形外科学 客員研究員 堀田昌宏

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

モートン神経腫は第2および第3趾間に好発し、しびれや疼痛、灼熱感などを生じる疾患で、足趾（足の指）へ向かう神経が、足趾の付け根の部分で圧迫を受けることで生じる神経障害です。モートン神経腫の診断にはMRIが用いられますが、神経腫の同定には熟練を要します。また、MRI画像所見と切除した神経腫との関連はまだ明らかではありません。そこで、神経腫切除術を受けられた方に特徴的なMRI画像所見を見出すことおよび切除した神経腫との関連を明らかにすることを目的としました。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

研究成果により、モートン神経腫に特徴的な画像所見および切除した神経腫との関連を明らかにすることで、モートン神経腫の診断や治療の一助となる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2016年3月1日～2022年2月28日の間に岡山大学病院でモートン神経腫に対して神経腫切除術を受けられた方10名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2025年3月31日

3) 研究方法

2016年3月1日～2022年2月28日の間に岡山大学病院でモートン神経腫に対して神経腫切除術を受けられた方で、研究者が患者基本情報およびX線学的所見、MRI画像、切除した神経腫の大きさの分析を行います。

4) 使用する試料

※試料を使用しません。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、BMI
- ・ 外反母趾や開帳足、扁平足、中足骨頭突出度のX線学的所見
- ・ MRI画像のスライス厚
- ・ MRI画像所見：術前MRIでの神経腫の有無と神経腫の最大横径
- ・ 切除した神経腫の最大径ならびに病理組織学的所見

6) 外部への情報の提供

※外部への情報の提供はありません。

7) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院整形外科学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますのでご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にも不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 整形外科

氏名：雑賀建多

電話：086-235-7273（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-223-9727

<研究組織>

研究代表機関名 岡山大学病院

研究代表責任者 学術研究院医歯薬学域 運動器スポーツ医学講座 講師 雑賀建多

研究分担者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 整形外科学 客員研究員 堀田昌宏